

最先端研究開発支援プログラム(30 課題)
研究費総額決定プロセスにおける透明性の確保について

平成 22 年 2 月 4 日
科学技術政策担当大臣
総合科学技術会議有識者議員

審査の公平性確保の観点から、研究費総額決定プロセスにおける透明性確保のために以下の通りとする。

1. 会合の公開・非公開について

各研究課題に対する研究費総額決定のために、「最先端研究開発支援プログラムの運用について」(平成 21 年 12 月 3 日 総合科学技術会議決定)に基づき開催される科学技術政策担当政務三役及び総合科学技術会議有識者議員の会合(以下、「調整会合」という)については、詳細な研究内容や知的財産権等に関わる事項について議論することから非公開とする。

ただし、研究費総額決定プロセスにおける透明性確保の観点から、総合科学技術会議において研究費総額が報告された後、各研究課題に対する研究費総額及びその金額となった理由、調整会合の議事概要を公開する。

2. 審査に影響のある行為について

審査の公平性確保の観点から、調整会合の構成員に対して、審査に影響を与える行為を行うことを禁止する。

また、そのような行為について、調整会合の構成員からの報告等により明らかになった場合には、その旨を公表する。

3. 日本学術振興会より提出された調査報告書の公開時期について

審査の公平性確保の観点から、総合科学技術会議において研究費総額が報告された後に公開する。

以上